



16

-中・西部-

山根 早紀

株式会社超民家やまね 代表
民泊、キッチンカー、デザイン

| 応募のきっかけは?

もともと田舎暮らしに憧れがありました。オーストラリアで働いた経験や、東南アジアやヨーロッパ周遊を通して、様々な暮らしをしている人々に出会ったことで、「自分らしい暮らしとは何か」を考えるようになりました。楽しめる暮らしを実践したいと思い、夫の出身地の山口で仕事を探したところ、協力隊の募集があり、帰国後すぐに応募しました。

| どのような活動をしたいと思っていましたか?

まずは地域のことを知り、自分なりの目線で「いいもの」、「いいこと」を見つけていたいと思いました。そして海外で見たアイデアや、ものづくりが好きなことなど、これまで

隊員時代:お大師まいり



の経験を活かしながら、山口での暮らしが楽しめるような活動がしたいと思いました。

| 任期中に感じたこと・印象に残ったことは?

やりたいことに挑戦させてもらえる良い環境である反面、プライベートとの線引きが難しく、戸惑うこともあります。

活動を通じて、以前よりも初対面の人と話すのが怖くなり、自分から話しかけやすくなりました。

お大師まいりの活動は自分が魅力を感じて始めた活動でしたが、地域の方に感謝されたときは嬉しかったです。

| 困ったときの乗り越え方は?

悩んだり、困ったりした時には、そのことを

隊員時代:ヒンメリ制作活動



周りの人に話したり相談したりすると、必ずどこかから助っ人が現れてくれた気がします。

| 現在、そしてこれからについて

卒業後は自分のペースでの生活となり、徐々に帰国当初に思い描いていた暮らしを実践できるようになってきています。「少ない支出と収入で豊かに暮らすこと」が夫婦の目標もあるので、そのために挑戦したいことが、まだまだたくさんあります。

民泊では、様々な国からの旅行者と話せるので、今でも新しいアイデアをもらったり、外国について知ることができたりと、とても刺激があります。

食料や生活エネルギーなど、自給できることを増やしていくことが目標で、将来、子どもができた時には子育て環境について考えるきっかけにもなると思い、楽しみにしています。

現在の暮らし



| 協力隊を目指す人や 後輩へひと言

自分の能力や経験を活かして活動することも大切ですが、同時進行で地域について興味・好奇心を持つことがとっても大切です。

山根 早紀さん

| 協力隊として

| 着任地 | 山口市(南部)

| 活動期間 | 2015年7月～2018年6月

| 活動内容 | ニューターリズムの形成

| 現在の仕事

(株)超民家やまね 代表、

民泊、キッチンカー(瓦そば)、デザイン

| ホームページ |

<http://socio-sports.com/blog/>



移動販売



山根さんのあゆみ

2015.2

世界周遊中に、協力隊の募集を知る

2015.3

 帰国し、協力隊に応募

2015.7

 協力隊着任

1年目

地域を知る、人を知るための活動

2016.4

 お大師まいりを初体験

2016.5

 地域に残る温かい習慣や文化に魅かれる

サイクルイベントの事務局を務める

2017.4

 お大師まいりの案内所開設

ポスターやチラシを作成し、PR

2017.8

 「うずまきLife Art」立ち上げ

「地球環境を大切にしながら、地域の魅力を発信する」イベント企画など、仲間との活動を始める

「ヒンメリ」の制作活動をスタート

地元の麦わらを使った麦わらアート(ワークショップ、販売、展示会の開催)

2017.12

 お大師まいりについてのリサーチ

山口県立大学生とリサーチ、イベントも開催

2018.1

 拠点づくりスタート

ビジネスモデル構築補助金を使って、「うずまきLife Art」としての拠点づくり

2018.6

 協力隊卒業

「株式会社超民家やまね」を設立

起業化支援補助金を利用して、デザイン業や移動販売を主軸とした会社